

令和8年9月28日
道路・交通政策局長
建設課鉄道交差調整担当課長
根本 進平

柏原委員（維新会）要求資料

1 生見尾踏切の安全対策の進め方に関する資料

- 資料1 工事期間中、歩行者の通行が既設こ線人道橋に限られた場合のサービス水準
- 資料2 直近で実施した類似のこ線橋の事業規模

資料 1 工事期間中、歩行者の通行が既設こ線人道橋に限られた場合のサービス水準

	交通量 (人/分)	歩行者 交通流率 (人/m・分)	サービス 水準	交通量の内訳 (ラッシュ時の状況を 1 分間計測)
既設こ線人道橋 (幅員 2 m)	81	40.5	B	既設こ線人道橋：71 人/分 踏切 ：10 人/分
参考（現況）	71	35.5	B	既設こ線人道橋：71 人/分

サービス水準【出展：大規模開発地区関連交通計画マニュアル（国土交通省）】		
A	自由歩行	～ 27 人/m・分
B	やや制約	27～ 51
C	やや困難	51～ 71
D	困難	71～ 87
E	ほとんど不可能	87～100

資料 2 直近で実施した類似のこ線橋の事業規模

橋 梁 名	樹源寺（じゅげんじ）跨線人道橋
所 在 地	保土ヶ谷区岩崎町 61 番から保土ヶ谷町 2 丁目 134 番の 1 (JR 保土ヶ谷駅・東戸塚駅間)
橋 長	37.0m
有効幅員	3.0m
事 業 費	約 10 億円
事業期間	平成 29 年度～令和 6 年度